

海外からのムール貝（ムサガイ）養殖技術の導入	
ねらい：	海外で行われているソッキングネットを利用した垂下式のムール貝養殖技術を本県に導入し、日本初の本格的なムール貝養殖を行う。
成果の特徴：	<p>養殖桁に付着した稚貝を種苗として有効利用できることが確認された。また、採苗ロープを垂下することにより効率的に種苗を確保できることが確認された。</p> <p>8月～9月にソッキングネットを用いて種苗（2cm）を適正な密度で養殖ロープに再付着させると、1年間の垂下養殖で出荷サイズ（6～8cm）まで成長することが確認された（写真1，2，図1）。</p>
成果の活用面：	当センターの指導により一部の漁協で養殖試験が行われている。

[具体的データ]

写真1 ソッキングネットによる稚貝の再付着
（ネットとロープの間に稚貝を入れる）

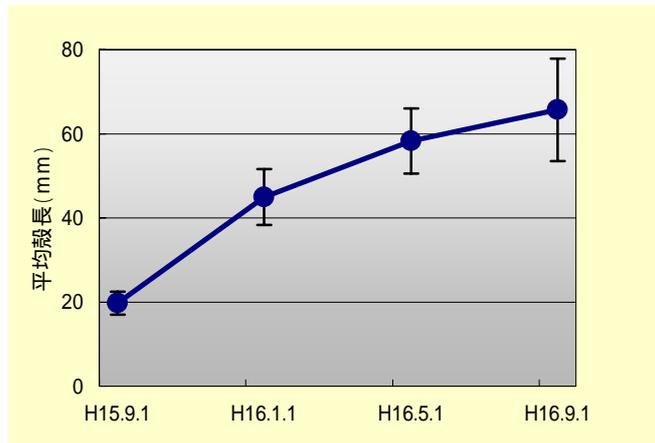


図1 養殖試験での殻長の推移

写真2 垂下1年後の養殖ロープの状態（ネットは約1ヶ月で溶けてなくなる）



担当者	種苗開発部 小林俊将専門研究員	0193-26-7918 FAX0193-26-7920
連絡先	〒026-0001 岩手県釜石市大字平田第3地割75番3号	
	ホームページ http://www.pref.iwate.jp/~hp5507/	